～　春日小は毎日が参観日　～

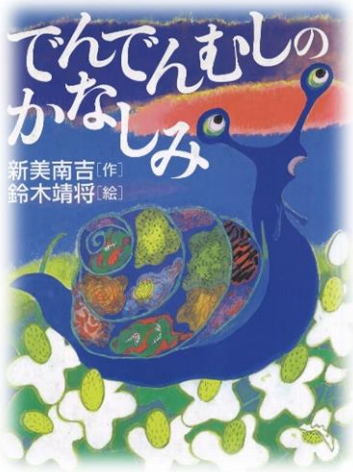
佐世保市立春日小学校　学校便り　No.33　（令和元年８月９日）

春のよき日

文責（校長　白濵忠昭）

1　読書の勧め

７月２日の全校朝会では、梅雨の時期を生かして**「読書の量」を増やす**ことを話しました。初めに、内野学校司書が推奨する本「でんでんむしのかなしみ」（新見南吉作）を読み聞かせました。次に読書をする「よさ」を次のように紹介しました。



- 想像する力が　つく。
- アイデアが　うまれる。
- お話が　上手になる。
- 文が　上手に書ける。
- 集中する力が　つく。
- 礼儀やマナーが　身につく。
- 長生きをする。



そして、そんな「よさ」がある読書に、春日小の子どもたちがどれくらい取り組んでいるか示しました。昨年度の図書室の本の貸し出し冊数は、**２７，６７９冊**です。これを**一人平均にすると、約４３冊**となります。子どもたちは、この数が多いのか少ないのか判断できませんので、参考資料として近隣の小学校２校の平均冊数（O小学校は９３冊、K小学校は１０７冊）を示し、読書量が少ないことを実感させました。最後に春日小の図書室は、「新刊図書や名作シリーズを紹介するコーナー」や「図書委員が勧める本の情報」など、工夫されているので、積極的に活用し、「読書のよさ」を身につけられるように励ましました。

夏休みは読書の時間が確保しやすい期間です。ご家庭でも読書の習慣が定着するように、言葉かけをよろしくお願いします。



2　「平和」について、ご家庭でも話題に。

本日（８月９日）の登校日、人権・平和委員会の児童が中心となり、**平和集会**を実施しました。また、１１時２分のサイレンに合わせ、平和を願って**黙祷**をしています。引き続きご家庭でも「平和」について話題にされ、今の私たちが**何をすればいいのか、どうあればいいのか**、深めていただければと願います。

３　このままでは…。

夏休みに入り、**地域の方**と会話する機会があったり、電話やメールをいただくことがあったりしました。**良い話題**としては、**「地域であいさつをする子どもが少しずつ増えてきている」**ということです。例えば、数年前まではあまりあいさつを返さなかった子どもが、今では自分からあいさつするようになったとか、低学年の子どもが笑顔を添えてあいさつするので気持ちがいいとか聞くことができました。４月に保護者の方と連携して取り組んだ**「あいさつ啓発」の成果**が**少しずつ**ではありますが、出てきたと嬉しく思います。まだまだ十分ではありませんが、継続して取り組んでいきましょう。一方、残念ですが**耳の痛いお話（話題）**もありました。

○　お年寄りの声掛けに、**心無いことば**で返答する。（横尾方面）
○　交通ボランティアの方が注意しても**行動を改めず**に登校する。（上の角・紋殊方面）
○　突然近隣の方に向かって、**心無いことば**を発する。（春日の杜方面）
○　近隣の方が注意したことに**反論**し、**心無いことば**を発する。（桜木方面）
※　○○方面とは、事象があった地区で、必ずしもそこの子どもとは限りません。



共通して言えることは、**「大人に対してふさわしい言動ができていない」**ということです。子どもなりに理由はあるのかもしれませんが、そこを**適切な言動で対応するのではなく**、その行動をやめなかったり、言葉かけを無視したり、心を痛める言葉を使って反論したりしているのです。**「ことば遣い」**については、昨年度**「思いやりと優しさのあることばかけ」**の啓発に取り組んだのですが、子どもによっては、**全く浸透していない**ことは否めません。

このままでは、社会に出た時通用しない子どもに育ってしまいます。
このままでは、地域の方から（温かい）声をかけていただけなくなります。

地域行事や外出が多い夏休みです。わが子が家以外でどのような言動をとっているのかしっかり見つめていきましょう。学校も登校日や９月からの生活の中で意識させていきます。**共に力を合わせて改善していきましょう。**

４　「あいさつ標語」を紹介します。Part４

親子で話題にされ、あいさつへの**意識が継続**できることを願っています。

○　通学路　あいさついっぱい　元気な子　（１年、３年 ○○親子）
○　あいさつで　心をきたえる　春日っ子　（３年 ○○親子）
○　あいさつで　一番目指せ　春日っ子　（３年 ○○親子）
○　あいさつは　みんなの心　つなぐカギ　（３年 ○○親子）

…… 切　り　取　り ……

※　ご意見，ご感想がありましたら、子どもたちを通して、ご連絡ください。